

地域ケア会議 NEWS☆LETTER

発行：小諸市地域ケア推進会議事務局（小諸市高齢福祉課・小諸市地域包括支援センター）

令和5年度 第2回地域ケア推進会議を開催！

8月22日に、第2回の地域ケア推進会議・生活支援体制整備推進会議が開催されました。

生活支援コーディネーターからは、「高齢者の生活ごみに関する課題の取り組み」について、進捗状況の報告がありました。ごみ収集業者や介護事業所と情報交換を行ってきた結果として、「小諸市における高齢者の生活ごみの支援ツール（案）」を提案しました。

また、併せて、昨年度から取り組みを継続している「地域の担い手」についての報告も行いました。

今回も、グループワークを通して、活発な意見交換を行うことができました。



「高齢者の生活ごみに関する課題の取り組み」について、浅麓工業企業組合の方にも報告していただきました。

高齢者の生活ごみに関する困りごとの解決に取り組めます！

【高齢者の生活ごみに関するアンケート調査結果】

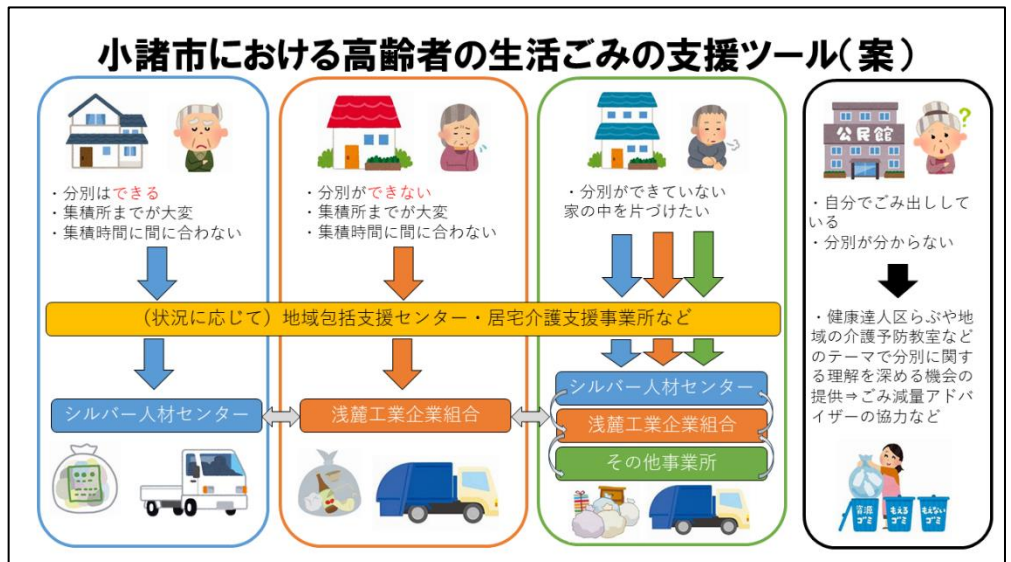
高齢者のごみ出しの現状を知るため、健康達人区らぶ参加者、友愛訪問対象者と併せて介護事業所に対してのアンケート調査を行いました。

その結果、調査対象とした高齢者の約80%が自分でごみ出しを行っていること、「分別に関する困りごと」を感じている人が多いが、「集積所までの距離」、「ごみの量」、「ごみ出しの時間」等、その他の回答も一定数あり、また、困りごとを複数回答している人も約10%おり、ごみ出しに関しては、複合的な課題を感じている世帯が多いことが推測されます。また、介護事業所からは、回収頻度の低いごみは、別居家族がごみ出しを担っている世帯も多いが、頻度の高いごみは、近隣住民や介護保険等サービスで対応している事例が多いことが分かりました。

【小諸市における高齢者の生活ごみの支援ツール】

アンケートや情報交換を通して、支援ツール（下記の図）を作成しました。支援ツールでは、「分別ができる・できない」「ごみの量」など本人の状況に応じて、支援者がごみ収集の実施主体である業者と連絡調整を行いながら、問題解決を図っていきます。

今後も今回の取り組みを通して構築した関係者とのネットワークを活かして、高齢者の生活ごみに関する困りごとの解決に取り組んでいきます。



元気高齢者が「地域の担い手」として活躍できる

前回の地域ケア推進会議・生活支援体制整備推進会議では、60・70代の定年退職を迎えた方を対象に、地域活動へ参加することでの効果を伝えること、地域活動を知るきっかけとすることを目的としたチラシの作成と、元気高齢者にチラシを手にとってもらえそうな場所について検討しました。その結果、修正したチラシをスーパーや公共機関など、市内20箇所以上を訪問し、設置しました。

設置期間が場所によって異なりますが、現時点では、チラシを手にとった人は少なく、生活支援コーディネーターに「チラシを見た」という連絡はきていないという状況を報告しました。

配布場所やチラシのデザインや内容、配布期間などに課題があったのではないかと考え、出席した委員とグループワークを通じた意見交換を行いました。

小諸市を目指して…！！

「地域の担い手」として、具体的にどのように活躍してほしいのか、チラシだけでは分からない。

ボラセンの講座に来ている人などの熱意のある人や社協と関わる企業の退職者に直接会って話をしながら、チラシの意図を伝えてみては？

すでに「地域の担い手」として活躍している人を取材して紹介することでイメージしやすくなる。

SNSを活用している人も多くいる年代のため、紙媒体のみにこだわらなくてもいいのでは？

★皆さんからの意見を基に、活動を継続します！★

＊＊ 過去に地域ケア推進会議で取り組んだことの『今』 ＊＊

地域課題：高齢者の移動支援

こもろ愛のりくん利用促進

【フロ得・愛のりくん回数券（3,000円）】

こもろ愛のりくん乗車券 300円×10枚に高齢者福祉センター「こもれび」入浴無料券2枚・あぐりの湯こもろ 100円引き券×5枚をセットにした回数券です。令和4年度は90冊が販売されました。

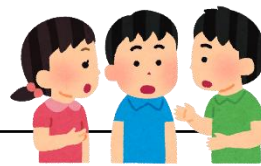
【おでかけ★65・75チケット】

当該年度の年齢到達者にこもろ愛のりくん乗車券300円×4枚の引換券をお送りしています。令和4年度からは、65歳に加え、75歳も対象にしています。引換者の約半数がこもろ愛のりくん未登録者のため、新たな利用者拡大の一助になっていると考えられます。

地域課題：身寄りのない住民の身元保証

意見交換会を開催

定期的で開催している身寄りのない住民の身元保証ワーキンググループにおいて、身寄りのない高齢者と関わることの多い施設同士で意見交換を行いたいという意見があり、8月29日に市内入所施設の職員が集まり、意見交換会を行いました。救急搬送や死亡時の対応、施設利用時の契約方法、成年後見制度など、多岐に渡る話題が出ました。各施設が様々な問題意識を持ちながらも、「いつもより一歩前に」の意識を持って取り組んでいる様子がみられました。



【編集後記】

9月になりましたが、まだまだ暑い日が続いていますね。今月は「ごみ出し」、「地域の担い手」の課題について、検討してきました。課題解決は、一筋縄ではいきませんが、これまでの取り組みも長い時間をかけて、形になってきたこともあります。地域の中で、仲間を作り、アイデアを出し合いながら、一歩ずつ歩いていきたいです。